

令和3年度 NPO 関連予算の特徴			・各種事業について、前年度予算から継続して支援。									
連番	事業名	新・継区分	施策・事業概要	3年度予算額	2年度予算額 [うち3年度使用見込残額]	補助率 上限額	実地主体	公募スケジュール	申請方法	照会窓口	2年度NPOへの実績	備考
1	森林環境保全直接支援事業	継続	施業集約化を図り、間伐やこれと一体となった森林作業道の整備、主伐後の再造林、鳥獣被害対策等を支援	2,074	2,875	3/10等	市町村長の認可を受けて森林所有者等と施業実施協定を締結したNPO等	随時	補助金交付申請書を作成し、都道府県の出先事務所等に提出。	農林水産省 林野庁 整備課 03-3502-8065		【頁3】
2	漁業経営体質強化機器設備導入支援事業	継続	被害を受けた福島県の漁業者のグループが行う省エネルギー性能が相当程度優れた漁業用機器設備（LED集魚灯・漁船用エンジン）等の導入費用を支援	39	68	定額	（公募）民間団体等	令和3年2月4日（木）～19日（金）午後5時まで	左記期間までに、課題提案書を窓口へ提出	農林水産省 水産庁 企画課 03-6744-2341	—	【頁4】
予算額合計（内数事業除く）			—	2,113	2,943	—	—	—	—	—	—	—
3年度使用見込残額合計			—	—	[—]	—	—	—	—	—	—	—
3年度実質予算額合計			—	2,113	—	—	—	—	—	—	—	—

《記載要領》 [令和3年度NPO関連予算の特徴欄]には、2年度と比べた3年度NPO関連予算全体の特徴等を記載して下さい。

[対象事業] NPOに資する事業(NPOが手挙げ(参入)出来る事業及びNPOのための研修等の事業)とします。これに該当する事業は全て記載し、該当しない事業は記載しないで下さい。なお、2年度で“終了”し3年度は実施しない事業でも、前年度と対比するために、漏れなく記載して下さい。期の途中で新たに予算化された事業も記載して下さい。

[新・継区分欄] 当該事業の区分(“新規”、“継続”、“名称変更”、“統廃合”、“終了”のいずれか一つ)を必ず記載して下さい。なお、“名称変更”、“統廃合”の場合は、旧事業や廃止した事業も同じ行に記載し(予算額は合算)、2年度のどの事業(名称)であったか等を備考欄に付記して下さい。

[予算額欄] 3年度予算額欄には直近の政府案、2年度予算額欄には補正予算(第1~3次)を含んだ額を記載して下さい。うち補正予算等で3年度使用できる見込残額がある場合は、下段に[]括弧で囲みその予算額も表記して下さい。予算計上された年度をベースに記載して下さい。なお、NPOが手挙げ(参入)出来るのは、その予算額全額に対してではなく一部であり、額が事業毎にどうしても区分できない場合は、()括弧で囲み(〇〇の内数)と表記して下さい。

[最後の合計欄]3年度予算額欄と2年度予算額欄の縦罫を合計した予算額合計を記載して下さい。ただし、内数事業(3・2年度のいずれかが内数事業を含む)の場合は、合計するときのみ3・2年度ともその額を除いて下さい。なお、3年度実質予算額合計欄には、3年度予算額合計+うち3年度使用見込残額合計の合計を記載して下さい。